

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、新たに受託を開始させていただくこととなりましたので謹んでご案内申し上げます。

先生方には何卒ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■新規受託開始項目および実施日

【実施日】 2022年 1月 4日(火) ご依頼分より開始

項目コード	検査項目	提出材料	容器	保存	所要日数	実施料判断料	検査方法
4370	胃癌 PD-L1 タンパク(IHC)28-8	未染標本 スライド 4枚	U	室温	7~12	2700 病理	免疫組織 化学染色法

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、
または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230

● 胃癌 PD-L1 タンパク(IHC)28-8

胃癌患者における免疫チェックポイント阻害剤「ニボルマブ」の適切な投与を行うための補助に用いる検査です。

本来、身体に有害な病原体や癌などの異常細胞は、NK 細胞や T 細胞などの免疫細胞によって排除されています。しかし一部の癌細胞は自己防衛のため PD-L1 という物質を発現し、T 細胞が持つ免疫抑制もしくは停止スイッチの PD-1 に結合し、免疫機能を阻害しています。そのため、PD-1 と PD-L1 の結合を阻害して、T 細胞の細胞障害活性を回復させる免疫チェックポイント阻害剤が注目されています。

本項目は、HER2 陰性で未治療の切除不能な進行又は再発胃癌患者における免疫チェックポイント阻害剤の一種である「ニボルマブ(商品名: オプジーボ[®])」に関して適切な投与を行うための補助に用いる検査です。

▼疾患との関連

胃癌

▼関連する主な検査項目

胃癌 HER2 タンパク(IHC)
胃癌 HER2 遺伝子(FISH)

—胃癌 PD-L1 タンパク(IHC)28-8 の提出方法—

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は胃癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 組織は4~5 μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼りつけてください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

—参考文献—

名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画): 147~150, 2002. (検査方法参考文献)
Janjigian YY, et al: Lancet. 398(10294): 27~40, 2021. (臨床的意義参考文献)